

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 株式会社松岡清掃公社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・朝礼にて経営理念を唱和し、全社員へ共有している。							8	9							17					
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・汚水排出等の環境系違反防止や交通法令をはじめとした法令遵守について、毎朝の朝礼にて全社員へ徹底している。														16						
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・入札において公正な取引に取り組んでいる。 ・見積書の金額の妥当性に関して、社内におけるチェック体制を構築している。 ・業界の基本単価に基づき社内での料金単価を定めており、全社員へ周知している。									10					16						
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・バリューチェーン分析を通じて、自社の事業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響について把握し課題解決に取り組んでいる。															16					
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・自社の技術や知識、ノウハウ等についての知的財産の重要性を、定期的な勉強会を通じて全社員へ周知している。							8.2 8.3	9							16					
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・お客様の個人情報はシステムにてパスワードを設定し、担当者のみ閲覧できるように、厳格に保管・管理している。 ・お客様からの問い合わせについては、契約者本人であるかの本人確認を行い、情報漏洩しないよう社員教育を徹底している。 ・社員の個人情報は代表者にて、厳重に管理を行っている。															16					
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・行政や熊本市浄化槽対策課と2ヶ月に1度会議を行い、情報共有を行っている。															16	17				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及び生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・行政、保健所、地域連絡協議会と浄化槽法定検査受検率の情報共有を行い、生態系への悪影響を及ぼさないよう取り組んでいる。					5				8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11			13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者を定め、社長より後継者へのOJTを実施することで実務経験を活かした人材育成を行っている。										8	9								17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5				8						12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則を定め、雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7				
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・社員へ安全靴・ヘルメット等の安全器具を支給し、安全対策に取り組んでいる。 ・他社での事故事例を共有し、事故防止に取り組んでいる。 ・損害保険会社から外部講師を招き、安全対策についての講習会を実施している。				3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・全ての社員を正社員雇用し、同一労働同一賃金ガイドラインに則り、公正な待遇を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・就業規則に育児休暇や介護休暇の規程を定めている。 ・事務所に休憩室を設け、働きやすい職場環境を整備している。 ・災害等の緊急事態を除き基本残業はほらないため家庭と仕事の両立がしやすい環境を整えている。				3	5.5				8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・各種免許、資格の取得や講習会にかかる費用を会社が負担し、学びの機会を充実させている。 ・職種に応じた研修を実施し、個人の適性に応じた配属に取り組んでいる。					4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員の心身の健康増進を目的とした自社農園を保有し、社員の協力の下、米や野菜を栽培し社員に提供することで、福利厚生と社員の健康の両立を図っている。 ・健康診断を適切な頻度で実施している他、雇用条件に応じて会社負担にて医療保険に加入している。					3				8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・社長が女性であることや、65歳以上も働くことができる再雇用制度を設ける等、多様な人材が活躍できる職場環境の整備に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・WEB会議を導入し、新しい生活様式に対応している。				3						8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・し尿汲み取りの請求書・領収書についてはハンディーターミナルにて電子発行を行い、効率化を図っている。										8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●												3	4					8	9		12	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社松岡清掃公社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・し尿処理、一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬の許可を受け、熊本市や植木町の衛生や環境保護に貢献している。 ・有害物質の発生はなく、マニフェスト伝票にて適切に管理・処理している。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・段階的に営業車のハイブリッド化や作業車のエコ車両への切り替え、事務所のLED化を実施しエネルギー使用量の削減に取り組んでいる。 ・【予定】2024年5月までに、簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出し、削減に取り組む。							7.3					13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・段階的に営業車のハイブリッド化や作業車のエコ車両への切り替えにより、CO2削減に取り組んでいる。 ・【予定】2024年5月までに、簡易計算シートを用いてCO2排出量を算出し、削減に取り組む。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・ルートが重複しないよう設定し、CO2削減に取り組むことで生態系の保全に貢献している。 ・事務所周りの清掃を定期的に行っている。 ・プラスチックの使用削減を社員へ徹底している。						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・裏紙の使用を促進している。 ・再生紙を利用することで効率的な資源利用を実施している。 ・事業活動を通じて、リサイクルに取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・浄化槽の無管理無清掃を減少させるため、保守点検・清掃を通じて熊本の水質保全に貢献している。 ・井戸水を使用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・再生紙を使用している。 ・役員車や営業車についてはハイブリット車を使用している。また、作業車両についても段階的に環境配慮型へ切り替えている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所周りに桜を植える等、緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3	15			17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・事務所と倉庫を段階的にLEDに移行し、エネルギー使用率の削減に取り組んでいる。 ・環境配慮型の作業車を導入し、軽量化やエコドライブ等を実施することで環境負荷を軽減すると共にエネルギー使用率の改善に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・ごみの分別を徹底し、プラスチックの使用削減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.17			

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社松岡清掃公社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・浄化槽管理士の定期的な講習会に参加により、高品質なサービスの提供に取り組んでいる。 ・浄化槽法定検査受検率100%の継続を実施することで、品質を確保する仕組みを構築している。			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・環境インフラ等の公平なサービス提供により誰もが利用しやすい環境を整備している。 ・聴覚に障害を抱えるお客様とは、FAXやメールの活用をはじめ、できるだけゆっくり話す等、思いやりを持ったコミュニケーションに取り組んでいる。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		・浄化槽等のメンテナンスを行うことで環境への悪影響を軽減し、水質汚染を防止している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・社会福祉協議会や地域のイベントの花火大会やゴルフ大会等への寄付、地域の草刈を実施し、地域社会に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・緊急時の連絡網により、全社員と連絡が取れる体制を構築し、安否確認を徹底する等、災害に対応できる体制を整備している。 ・【予定】2024年5月までに、水や食料の防災備蓄を準備する。				4								11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		・事務所にAEDを設置している。 ・井戸や発電機を保有し有事の際は使用できるように整備している。	1.5			3	4					10.2	11.5		13.1				16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		・社会課題や地域の課題解決に向け、金融機関と連携し自社のSDGsの取り組みを整理し、対策を検討している。 ・【予定】2024年5月までに、全社員へSDGsの勉強会を実施することで自社の取り組みを周知する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4						8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4						8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2	12	13	14	15			17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。